



南島原市国際交流員

※「プレフェリート」とは、イタリア語で「おすすめ」という意味です。

フランチのプレフェリート♥南島原 「日本は血液型、イタリアは星座」

日本では、日常会話の中でよく血液型が話題になります。血液型によって人の性格が分かるといわれ、日本人は血液型を相手との相性を判断する材料の一つとして利用するようです。例えば、A型＝几帳面、O型＝大雑把…など

一方、私の母国イタリアでは血液型で判断するような考え方がないので、自分の血液型を知っている人はあまりいません。

イタリアにおいて、人格、相性を判断することに関して言えば、人の星座を知ることが大事にされています。星座とは黄道十二宮（12星座）のことです。星占いは西洋で古くから伝わってきた占術を簡単にしたものであり、生まれた日に太陽が黄道十二宮の中でどの宮にあったかで誕生日の星座が決まります。

また、誕生日をもとに定められた星座によって、その人の人柄を判断します。このように、イタリアでは、その人の星座が何かによって相性が良い星座と悪い星座があるので、それで、友だちや恋人として仲良くできるかどうかの判断材料の一つとして利用します。

性別にかかわらず星座に興味を持って信じているイタリア人はたくさんいます。毎日ラジオ、テレビ、新聞、雑誌で「星占い」（イタリア語で「Oroscopo」）の情報があります。

例えば、「今日は〇〇惑星が〇〇に向いているので、〇〇星座の人はビジネスを立ち上げるのにいいタイミング」、また「今日は〇〇星が〇〇星座に対して反対方向

に向いているので、その人は相手と喧嘩しやすくなるかもしれないので注意」などです。

個人的に星占いはあまり信じていないのですが、たまに、星占いを聞いたり読んだりして私の星座に対して良い星占いを見つけた時はうれしいです。

日本でも、さまざまなメディアで星座占いがあるようですが、イタリアのそれとは少し違うように見えます。

このような話題に関してもそれぞれの国の文化が違うので面白いです。

皆さんは血液型と星占いのどちらを信じていますか？それとも、信じていませんか？また、それはなぜですか？機会があれば是非聞かせてください。

ところで、最近まで自分の血液型を知らなかった私ですが、少し前に血液型を調べてもらいました。

さて、ここでクイズです。その結果、私の血液型は何型だったでしょうか？（ヒント→写真にあります）



フランチのイタリア文化講座

受講生募集

「Diventiamo amici dei Chietini! = キエーティをもっと身近に！」



イタリアからの国際交流員フランチェスカのイタリア文化講座を開催します。

昨年11月に友好都市となったイタリアのキエーティ市をもっと身近に感じるため、また、より友好関係が深まるように、本市とキエーティ市の交流内容を紹介し、キエーティ市民との上手な付き合い方についてお話しします。

企画振興課 ☎73-6631 FAX82-3086 Eメール: chiikiseisaku@city.minamishimabara.lg.jp

- ☎3月23日(木) 午後7時～8時30分
- ☑ありえコレジヨホール 2階大会議室
- 定25人 (先着順)
- ☎無料
- ☑3月17日(金) 午後5時まで
- ☎電話、FAX、Eメールで「住所・氏名・電話番号」を申し込んでください。

つなごう未来へ！
島原半島ユネスコ世界ジオパーク
ジオパークで
あり続けるための取り組み

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーくん」

島原半島ジオパーク協議会 ☎0957-65-5540

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」

日本ジオパーク再審査 ～条件付き再認定の“条件”～



日本ジオパーク現地審査・講評会の様子

ジオパーク活動の目的は、私たちが暮らすまちを守り、地域の宝をそのまま子どもたちや孫に引き継いでいくことです。この目的を果たすために、島原半島地域では、保全、教育、学術研究、観光事業など、さまざまな活動を展開してきました。しかし、昨年12月の日本ジオパーク委員会において、島原半島地域は「条件付き再認定」となりました。「条件付き再認定」となった地域は、2年間で指摘された事項に対応できなければ、日本ジオパークの認定がはく奪されます。その“条件”とは何なのでしょう。

ジオパークに認定された地域は、無理のない（持続可能な）運営体制のもと、地域の宝を守る活動を続けていくことが求められます。しかし今回の審査では、島原半島ジオパークの今の運営体制は持続可能ではない、と判断されました。つまり、これまでの運営体制を見直し、持続可能な体制に改めることが条件の一つです。

でも、いくら優れた運営体制のもとであっても、そこに携わる人が思いを一つにし、目的の実現に向けて活動しなければ、どんな活動もうまくいかないでしょう。地域の住民、行政、研究者など、ジオパーク活動に関わりのある人たちが、ともに考え続けながら、ふるさとを守り、そこにある宝を守る活動に主体的に参加すること。これがもう一つの条件です。

では、守るべき“地域の宝”とは、一体何でしょうか。それは、世界に一つしかない“雲仙”という火山がつくられたプロセスはもちろん、雲仙火山があることによって育まれた、私たちの歴史、文化、伝統、そして生活です。

「ジオパークとは、岩石、地層、噴火災害を学ぶこと」というイメージから一度離れて、ふるさとをさまざまな視点から見つめなおしてみませんか。私たちが守り、未来に引き継いでいくべき“宝”が、何気なく見ている景色の中に隠れているはず。



第10回 島原半島
ユネスコ世界ジオパークセミナー

☎3月18日(土) 午後1時～3時

☑がまだすドーム(島原市)

☎参加無料

☎題目…新たな出会いが地域を楽しくする!?
～ジオパークは難しい火山の話だけじゃない～

●講師…柚洞 一央氏(徳山大学経済学部准教授)

☎200円(おいしいお菓子とコーヒー付き)

☎島原半島ジオパーク協議会 ☎0957-65-5540

早春の植物 矢岳登山会

☎3月26日(日) 午前9時30分～午後2時

☑雲仙お山の情報館(雲仙市)

定15人 ※先着順

☎大人…600円、小学生…400円

●受付開始…3月12日(日) 午前9時～

☎電話で申し込んでください。

☎雲仙お山の情報館 ☎0957-73-3636